

IMF サーベイ

IMF ユースダイアログ

若者を受け入れる労働市場、 若者の失業率の改善に寄与

2013年10月17日



ユースダイアログのパネリスト
(左から)：シャフィク、ダッフィー、クリング、デ・マヨ、ドミンゲス、アル・アカリ。「若者も、自らの未来を司るために行動することができる (写真 IMF)」

- 世界危機の発生から5年、若者の失業が主な懸念事項に
- 各国は、スキルミスマッチや教育ギャップに対処を
- 若者を支える労働市場と世界クラスのビジネス環境も有益

ワシントン DC で開催された 2013 年国際通貨基金 (IMF) ・世界銀行年次総会のセミナーで、あらゆる国において雇用の創出のためには、経済成長の回復が最も重要だがそれだけではないと指摘する声が上がった。

IMF ユースダイアログに参加した IMF のネマト・シャフィク副専務理事は、多くの国は若者を受け入れる労働市場を構築しておらず、これにより失業が悪化していると述べた。

シャフィク氏は「雇用創出において成長という要素が占める割合は3分の2だ。しかし、労働市場と教育制度がどのように機能し、労働者が労働力としての能力を備えることができるかを決定する政策に関連する構造的側面もある」と述べた。

失業世代

危機発生から5年が経過した現在、失業者は約2億人に上る。そのうち、7,500万人が若者である。国際労働機関 (ILO) によると、2012年で最も若者の失業率が高かったのは中東と北アフリカで、それぞれ28.3%と23.7%だった。先進国・地域および欧州連合 (EU) 各国でも2008~2012年に、24.9%も増加した。

米国・ジョージワシントン大学の学生でアイルランド出身のマーク・ダッフィー氏は「アイルランドの場合、若者の失業率は28.6%に達している」と述べた。「新たに雇いを創出するとともに、若者が職に就く上で直面する障壁を取り除く必要がある」

立ちふさがるバリア

シャフィク副専務理事は、不確実性、労働市場の適応力の欠如、およびスキルミスマッチが高失業率の原因ではないかと指摘した。

同氏は「世界経済の回復は依然不確かだ。投資家の多くは確信が持てず投資を控えている。特に若者向けの雇用が生まれていない」と続けた。

またシャフィク氏は、多くの国は若者を受け入れる労働市場を構築しておらず、これにより失業が悪化していると述べた。「欧州や中東の中には、労働市場でいわゆる『二重構造』が形成されているところがある。つまり、フォーマルな労働市場に属し職に就いているならば保護され職を失うことはない」と述べた同氏は「しかし、新たに参画しようとするならば、大変な困難を伴い、社会保障もなく雇用保障もほとんどないインフォーマルセクター或いは非正規契約から抜け出せなくなる」と続けた。

さらに、同氏は、これまで多くの雇用を創出してきた製造業をはじめとする各種部門の成長は止まっていると説明した。「多くの若者は、現在労働市場が求める内容とマッチしていないトレーニングを終えて労働市場に入っていく」

「全員が総力を挙げて取り組む」

若者が運営する法人である「Resonate! Yemen」のチェアマンであるラファット・アル・アカリ氏は、イエメンでは起業家スキルを構築するためのイニシアティブが複数進められていると述べた。「しかし、若い起業家には協調的アプローチが必要だ」とした同氏は「1セクター、1組織では十分ではない。全員が総力を挙げて取り組む必要がある」と続けた。

アル・アカリ氏は、「雇用主としての民間部門はパズルの1ピースでしかない」と述べた。「民間部門は教育或いはトレーニング機関に投資することである種の『雇用のための教育』セクターを作り出すことができる」

パネリストは、その他の重要な役割の担い手として、政府、教育システム、市民社会組織を挙げた。

ダッフィー氏は「各国政府は、教育機関が実際に国のニーズに見合ったプログラムやコースをデザインする政策を奨励する必要がある」と述べた。

チリ大学の大学院生であるダミアン・ヴァーガラ氏は「チリの教育はその役割を果たしていない」と指摘した。チリの教育は極めて民営化が進んでいる一方で、公教育は悪化している。同氏は、これが何よりも不平等の拡大につながっていると説明

した。「若者に全ての解決策を求めることはできない。解決策の大半は、より上のレベルからくるべきものだ」

世界クラスのシステム

各国がトレンドの変化に対応し不確実性に対処する最善の方法は、雇用創出の適切な環境を促すことだとシャフィク副専務理事は述べた。

「起業が成長し破綻しまた変化することができる世界クラスのビジネス環境という優れたシステムを導入しなければならない。担保が容易に受け入れられ、信用調査機関が機能し中小企業が成長することのできる金融システムを整備しなければならない」

若者を受け入れる労働市場の枠組みの中で、こういった世界クラスのシステムと研修機関や大学と結びつけることで、若者が身につけるスキルと市場を関連付けることができよう。

シャフィク副専務理事は「雇用創出の未来は、このような世界クラスのシステムの構築にある」と述べた。

若者の宿題

パネリストは、自らの未来を司るために若者にできることがあるという点で合意した。ジョージワシントン大学の学生であるアリソン・デ・マヨ氏は、例として米国の学生は実生活でのスキルを身につけるために、より積極的にコミュニティ活動に参加できると述べた。「ボランティアやインターンシップを通し様々な機会を生かせるよう若者は努めるべきだ」

アル・アカリ氏は「若者自らも、就職に備え準備をし、市場に何があるのか、そしてそういった雇用機会に見合うような準備をするなどしなければならない。また他の若者に助言を行うことも必要だ」と述べた。「世代を超えるより、若者自らが他の若者の良き師となるほうが容易であろう」

関連リンク：

[セミナー・ウェブページ](#)

[セミナー・ウェブキャスト](#)

[セミナー・ツイッター](#)

[年次総会ホームページ](#)